VOISTAGE®
ボイスステージ

マルチメディアボックス
VS-2301MB
取扱説明書

第２版

5年間保証

ユーザー登録をしていただくと、保証期間が５年間に延長されます。（無償）
詳しくは、本書巻末の「6.保証規定」をご覧ください。

www.voistage.com

NTT DATA
NTTデータ 先端技術株式会社

はじめに

このたびは、マルチメディアボックス VS-2301MB をお買い上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書は保証書とともに大切に保管してください。

ご注意

●本書の内容の一部または全部を無断で転記することは禁止されています。
●本書の内容に関しては予告なく変更する場合があります。
●本製品の仕様、デザイン等に関しては改良のため予告なく変更する場合があります。
●お客様または第三者が本製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他不具合または、
本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、
当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。本製品を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

輸出する際の注意事項

本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店にお問い合わせください。

安全のために

必 ずお読 みください

ご使用の前に下記をよくお読みの上、正しくお使いください。
よくお読みになったあとはいつでも見られる場所に保管してください。

本書中のマークの説明

警告

この表示を無視し、誤った取扱をした場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意

この表示を無視し、誤った取扱をした場合、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

安全のために

⚠ 警告

◆ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがの原因となります。

◆電源が入った状態で、本ボックスに金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

◆本製品に水が入らないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

◆故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店に依頼してください。

◆分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

◆表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

◆万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、その後必ず本体の電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

◆万一、本製品を落としたりして破損した場合は、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

◆万一、水その他の異物が本製品に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

◆機器を廃棄する時は、一般廃棄物として捨てないでください。廃棄時は管轄の自治体（区市町村役場等）に連絡して回収を依頼してください。

安全のために

⚠ 注意

◆本製品を、水や油などの液体のかかる場所、湯気のかかる場所、湿気の多い場所では使用しないでください。感電の原因となります。

◆本製品を、水や油などの液体のかかる場所、湯気のかかる場所、湿気の多い場所では保管しないでください。故障の原因となります。

◆故障や異常が発生した場合にはただちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。

◆本製品は、平らで十分な強度がある場所で使用・保管してください。また、振動や衝撃を加えないでください。故障の原因となります。

◆本製品を、直射日光の当たる場所、火気やストーブなど暖房器具の近くでは、使用・保管しないでください。故障の原因となります。

◆本製品を、ほこりの多い場所では、使用・保管しないでください。故障の原因となります。

◆本製品は、テレビ・ラジオ・コードレス電話機などのそばでは使用しないでください。ノイズが混入する原因となります。

◆本製品は、磁気や電波の発生する機器の近くでは、使用・保管しないでください。故障の原因となります。

◆本製品を複数台積み重ねて使用する場合は 2 台まで可能です。それ以外で本製品の上には、重いものをのせないでください。故障の原因となります。

◆静電気は、製品の故障の原因となることがあります。本製品を取扱う場合には、身体の静電気を取り除くなどの十分な静電気対策を行ってください。

目次

1. 概要 1
1.1 製品の名称 6
1.2 製品の構成 6
1.3 製品の特長 7
1.4 推奨動作環境 7
1.5 各部の名称と働き 8
1.5.1 筐体外観 8
1.5.2 筐体上面 8
1.5.3 筐体底面 9
1.5.4 筐体前面 10
1.5.5 LED の状態説明 11
1.5.6 筐体後面 12
2. ハードウェアの設定 8
2.1 電源との接続 13
2.2 コンピュータとの接続 14
2.2.1 USB のバージョンについて 15
2.2.2 複数台接続時の注意点 15
2.2.3 複数台積載する場合の注意 16
3. ソフトウェアのインストール 12
4. こんなときは？ 13
5. 仕様一覧 15
5.1 機能仕様 15
6. 保証規定（5 年間保証について） 17

1.概要

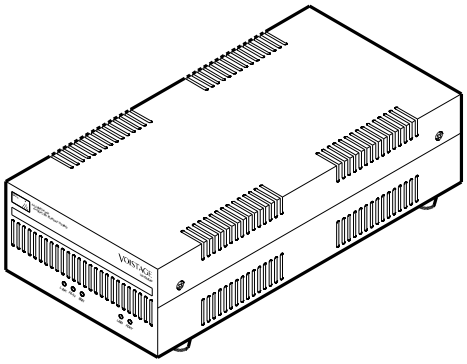
1.1 製品の名称

マルチメディアボックス VS-2301MB

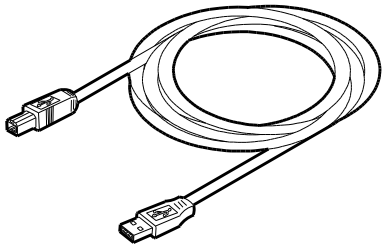
1.2 製品の構成

製品構成は以下のようになっています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確かめてください。

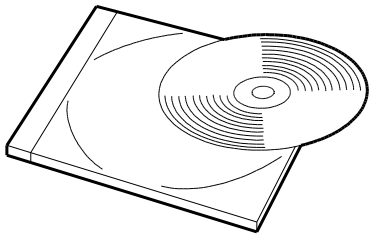
■VS-2301MB 本体



■USB ケーブル（2m）

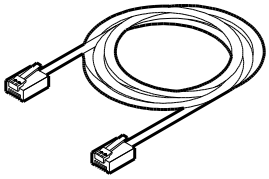


■CD-ROM（マルチメディアボックス基本ソフトウェア）



■取扱説明書（本書）

■INS ネット 1500 ケーブル（3m） 1 本



1.3 製品の特長

本製品は 1 本の INS ネット 1500 インタフェースを有した音声・FAX 応答装置です。本製品は、USB2.0（HI-SPEED）を搭載したコンピュータに接続して使用します。

本製品は Bch データに対して DTMF の送出/検出、音声データの録音/再生、および Dch での発着呼制御機能等を有します。また、回線接続中のダイヤルパルス信号及び DTMF 信号を自動判別し、認識することができます。1 台のコンピュータに最大 3 台まで接続することが可能です。

(1)FAX モデム機能

ITU-T V.17、V.29、V.27ter、V.21、V.34の規格に対応し、ITU-T T.30の規格に準拠したプロトコルでFAX通信が最大23チャネル同時に行えます。本製品で扱えるFAXデータはITU-T T.4の規格に準拠したデータです。

(2)音声処理機能

64kμ-LawPCM音声データのデコード・エンコードを行いながら、最大23チャネル同時に音声の送受信ができます。

(3)DTMF、トーン検出機能

チャネル通信中の 0～9,*,#,A,B,C,D の DTMF 信号の送受信ができます。DTMF 信号の受信には、エコーキャンセラを使用し、信号送信の有無に関わらず正確な検出が行えます。

(4)ダイヤルパルス検出

通信中にダイヤルパルスが送られてきた場合、その音を識別し 0～9 の信号として認識することができます。

なお、ダイヤル認識率は、使用される電話機や、回線の状態により変化します。また、ダイヤル式の公衆電話やビジネスホン等、通話中にダイヤルパルスを送出できない場合は認識できません。

(5)音声合成機能

テキストで書かれた文字データを自然な音声に変換し、発声することができます。

(6)音声認識機能

認識させようとする単語をあらかじめテキストに設定しておくことにより、不特定の人が話す言葉をリアルタイムに認識させることができます。なお、同時認識単語数は最大 1000 単語程度、また、認識率は 500 単語の認識において 95%以上(*)を実現しています。

(*)同時認識単語数や認識率は、使用メモリ、回線数及び使用環境によって異なります。

(5)及び(6)の機能は、基本ソフトウェアにおいて実現しています。詳しくは、添付の CD-ROM「基本ソフトウェア」内のオンラインヘルプをご覧ください。

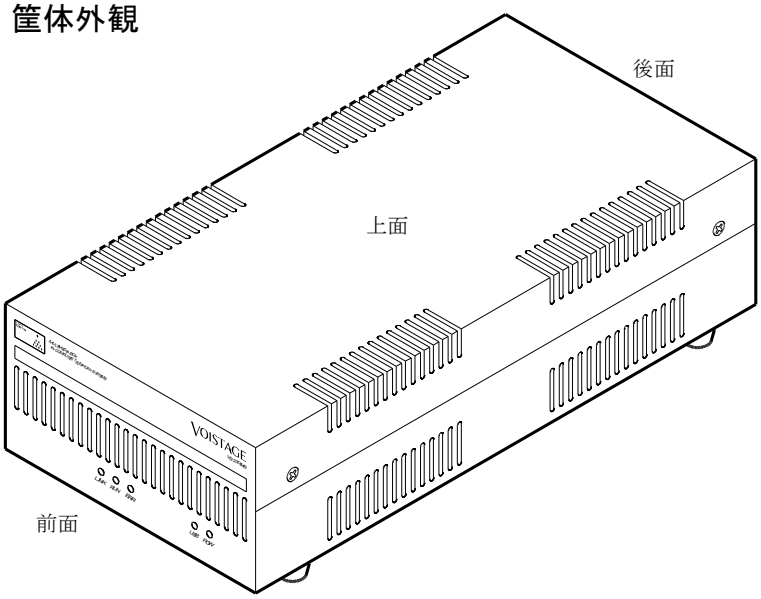
1.4 推奨動作環境

項目	仕様	備考
ハードウェア （コンピュータ）	CPU：Intel Core2 6300 1.86GHz 以上※ メモリ：2GB 以上の RAM ※ ハードディスク：4GB 以上の空き容量 ※ USB：USB2.0 に対応した USB シリーズAコネクタ	
ソフトウェア（OS）	Windows XP Professional SP2 以降 Windows Server 2003 Standard/Enterprise Edition(32-bit x86) SP2 Windows Vista Business(32-bit x86) SP1 Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition(32-bit x86)	

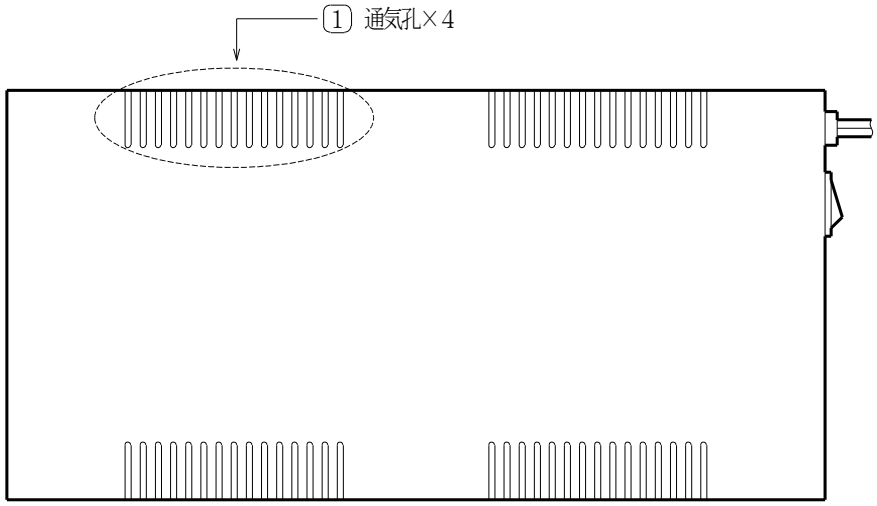
※使用環境、使用方法によって必要とする動作環境は異なります。

1.5 各部の名称と働き

1.5.1 筐体外観



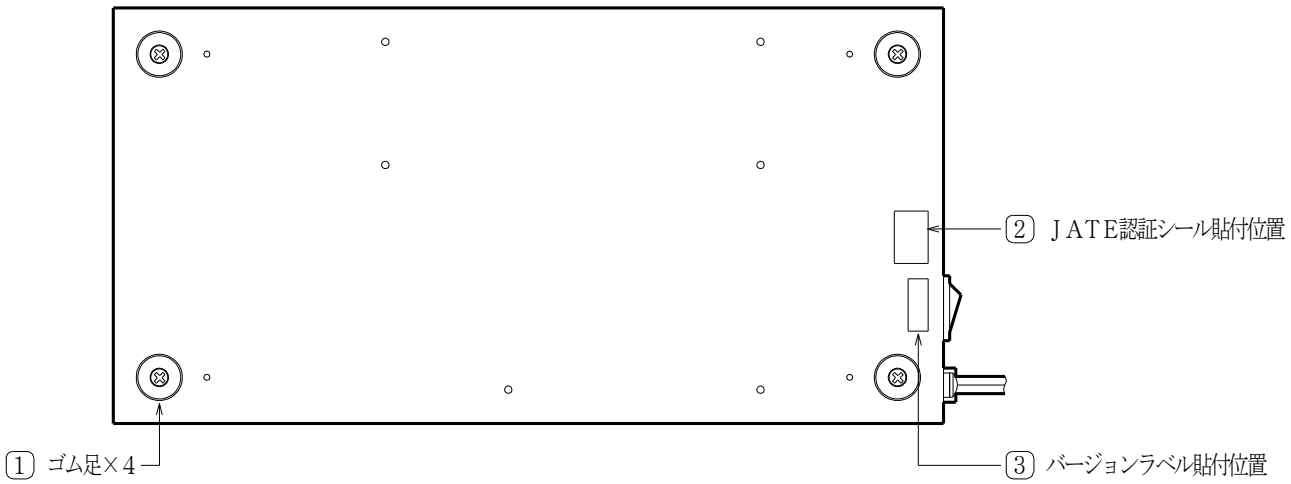
1.5.2 筐体上面



注意

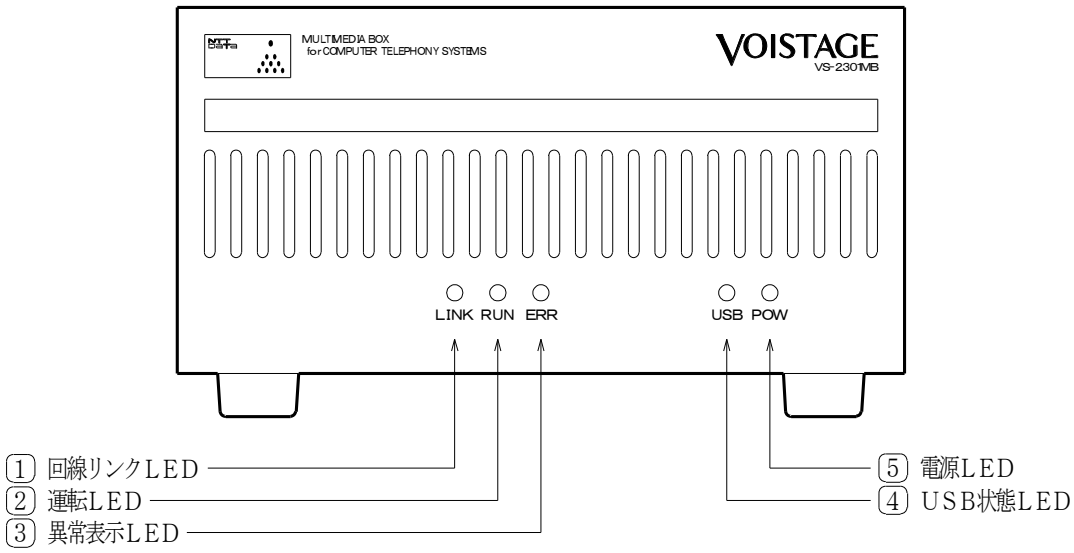
◆設置する際は通気孔をふさがないようにしてください。故障の原因になります。

1.5.3 筐体底面



No.	各部名称	機能
1	ゴム足	ゴム足は製品の底面に 4 箇所取り付けられています。
2	JATE 認証シール	JATE の認証番号、機器名、社名を表示しています。
3	バージョンラベル	製造時のハードウェアバージョンを表示しています。

1.5.4 筐体前面



●各部説明

No.	各部名称	機能
1	回線リンク LED	回線リンク確立状態を表示します。
2	運転 LED	運転状態を表示します。
3	異常表示 LED	異常状態を表示します。
4	USB 状態 LED	USB の接続状態を表示します。
5	電源 LED	電源 ON 時に点灯します。

※LED 状態の詳細は次項で説明します。

1.5.5 LED の状態説明

VS-2301MB 筐体前面の LED の状態について説明します。

●回線状態 LED

LED の点灯パターンを以下に示します。

LED 名称	色	電源投入直後	初期化完了後	基本ソフトウェア起動後
回線リンク LED(LINK)	緑	消灯	消灯	リンク確立状態:点灯 その他の状態:消灯
運転 LED(RUN)	緑	消灯	消灯	回線使用時:点灯 その他の状態:消灯
異常表示 LED(ERR)	赤	点灯	消灯	FAX 処理部で異常:点滅(0.25sec) その他の状態:消灯

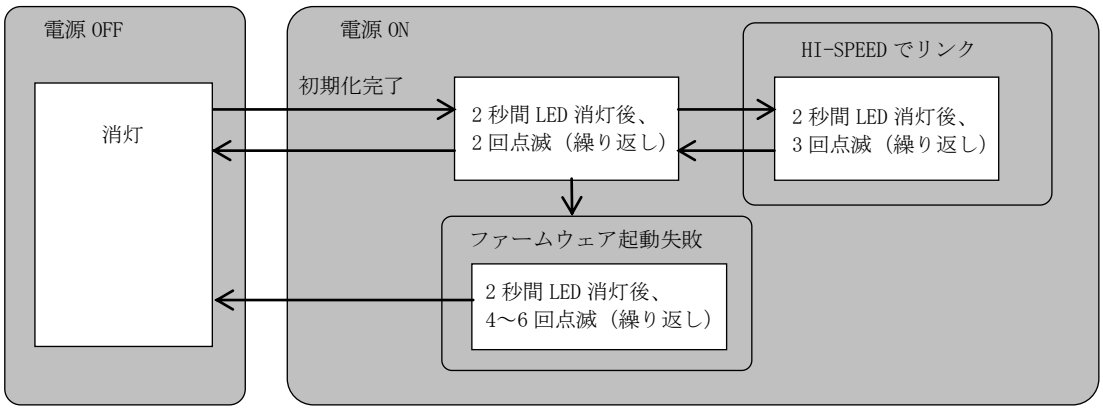
※異常表示 LED(ERR)が点灯または点滅している場合は、「4.こんなときは」をご覧ください。

●USB 状態 LED

USB の LED は VS-2301MB の電源 OFF 状態、初期化完了状態、HI-SPEED リンク状態、ファームウェア起動失敗のいずれかを取ります。LED の点灯パターンと状態遷移図を以下に示します。

LED 名称	色	状態	LED 点灯パターン
USB 状態 LED(USB)	緑	電源投入直後	消灯
		初期化完了後	2 秒間 LED 消灯後、0.25sec×2 回点滅(繰り返し)
		USB リンク状態	2 秒間 LED 消灯後、0.25sec×3 回点滅(繰り返し)
		ファームウェア起動失敗	2 秒間 LED 消灯後、0.25sec×4～6 回点滅(繰り返し)

※USB 状態 LED が 3 回点滅にならない場合は、「4.こんなときは」をご覧ください。

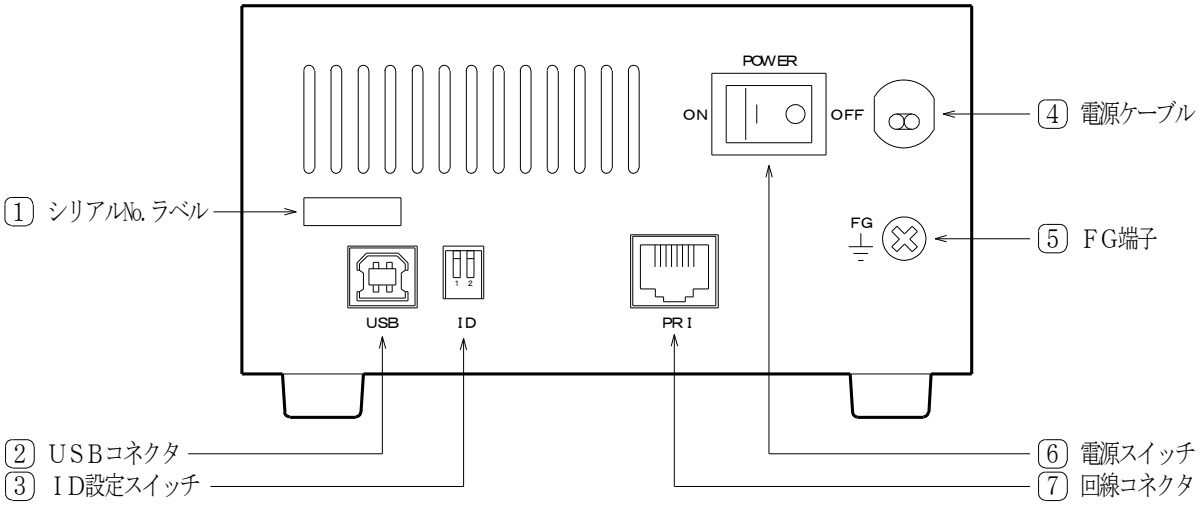


●電源 LED

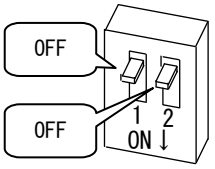
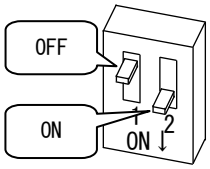
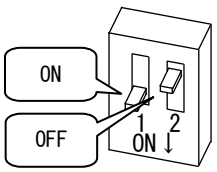
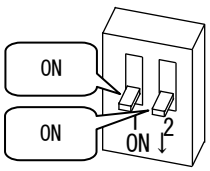
筐体後面の電源スイッチを ON にすることで LED が点灯します。

LED 名称	色	電源 ON 時	電源 OFF 時
電源 LED(POW)	緑	点灯	消灯

1.5.6 筐体後面



No.	各部名称	機能
1	シリアル No.ラベル	製品固有の 7 桁のシリアル番号を表示しています。
2	USB コネクタ	コンピュータと USB ケーブルにて接続します。ケーブルは必ず同梱品をご使用ください。
3	ID 設定スイッチ	識別番号の設定スイッチです。本製品を複数台（最大 3 台）動作させる場合、ID1、ID2、ID3 の順に ID が重複しないように設定します。
4	電源ケーブル	本製品は、AC100V（50/60Hz）で動作します。
5	FG 端子	VS-2301MB 本体の FG 端子です。FG ラインに接続することをおすすめします。
6	電源スイッチ	本製品の電源スイッチです。
7	回線コネクタ	INS ネット 1500 回線ケーブルを用いて、INS ネット 1500 回線と接続します。

ID 設定スイッチ	内容	ID 設定スイッチ	内容
	ID1 設定 （1 台目） 出荷設定		ID3 設定 （3 台目）
	ID2 設定 （2 台目）		ID4 設定 （4 台目） 設定禁止

2. ハードウェアの設定

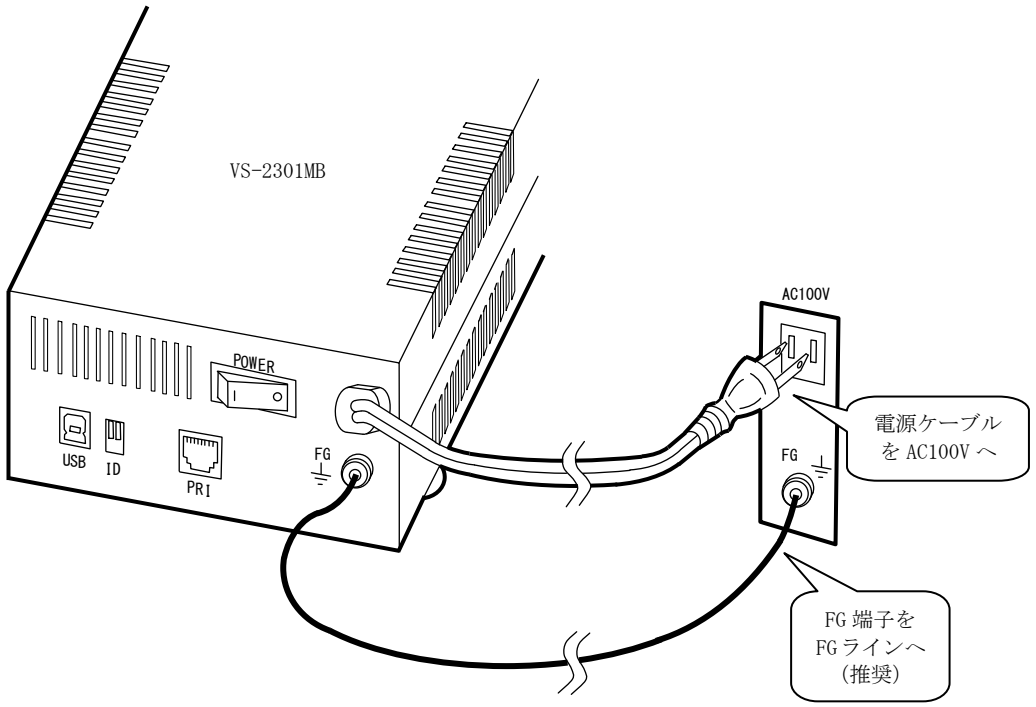
2.1 電源との接続

(1)VS-2301MB の電源接続

VS-2301MB 本体の電源ケーブルは、以下のように AC100V コンセントに接続してください。

(2)VS-2301MB の FG 接続

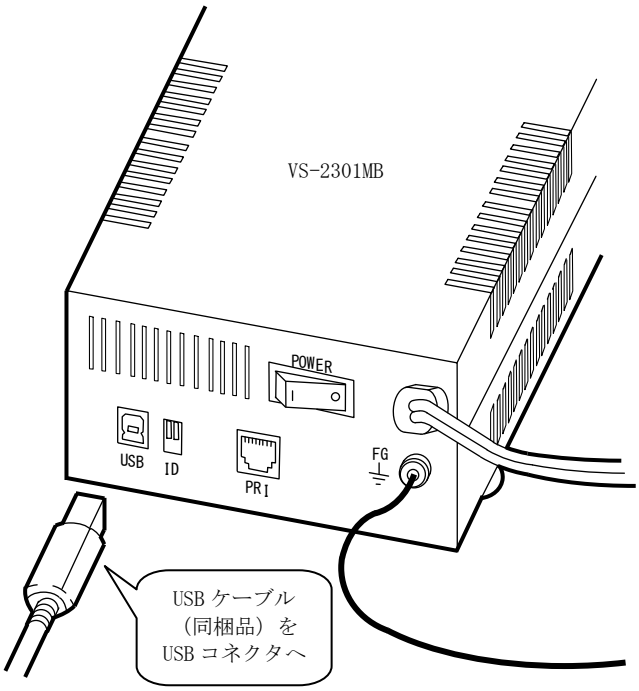
VS-2301MB 本体の FG 端子は、落雷などの電撃事故による人身への傷害や機器の損傷を防ぐため、以下のように FG ラインに接続することをおすすめします。接続には市販のアース線をご使用ください。



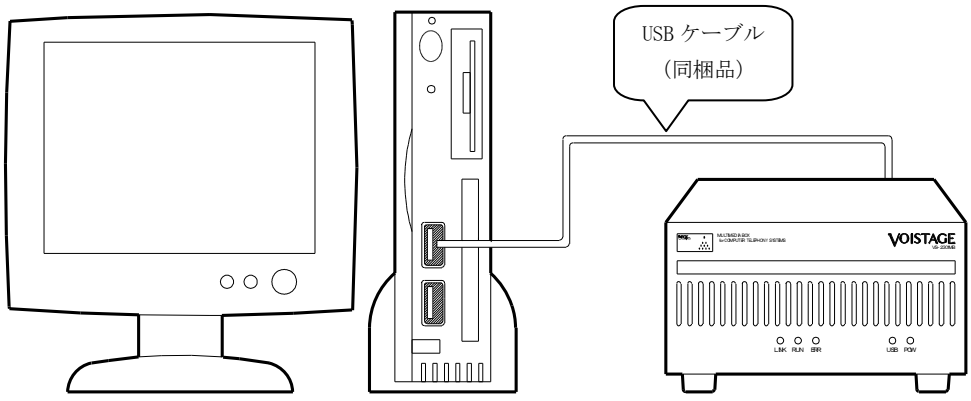
2.2 コンピュータとの接続

コンピュータに本製品を接続する際には、下図のように USB ケーブルで接続します。詳細は各コンピュータ付属のマニュアルに記載されていますので、その指示に従ってください。

■VS-2301MB の USB ケーブル接続位置



■コンピュータとの接続



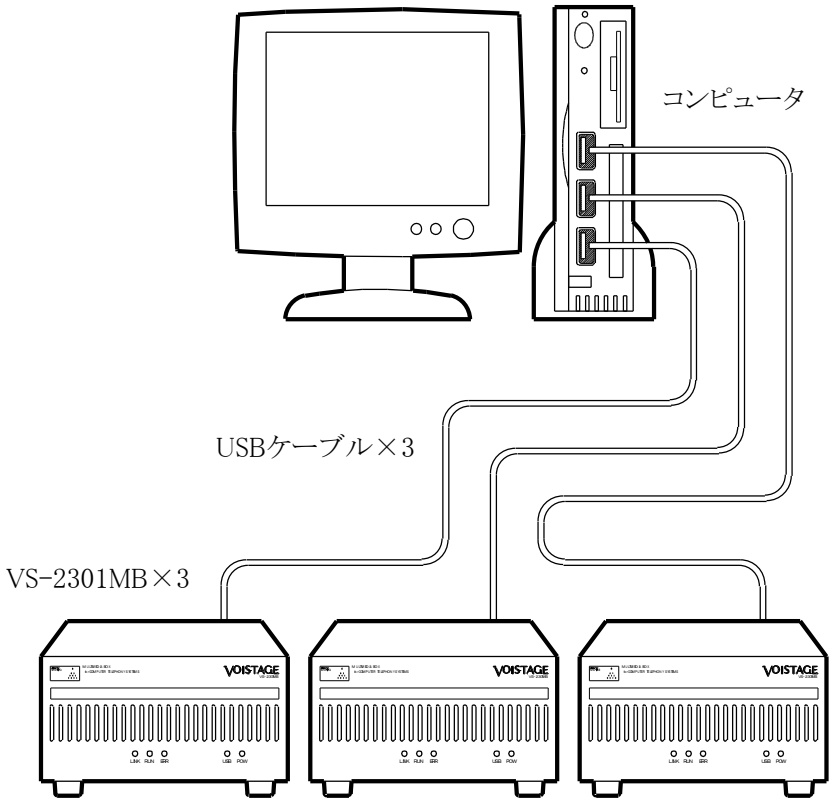
2.2.1 USB のバージョンについて

現在コンピュータに搭載されているUSBコントローラは、バージョン1.1（Low/Fullスピード）、バージョン2.0（Low/Fullスピード＋ハイスピード）の2種類があります。マルチメディアボックス（VS-2301MB）は、高速なデータ転送を必要とするため、バージョン2.0（USB2.0）の機能が必要です。ご使用になるコンピュータの仕様をご確認ください。

2.2.2 複数台接続時の注意点

マルチメディアボックス（VS-2301MB）は、1台のコンピュータに最大3台まで接続が可能です。但し、1台のコンピュータに接続できるマルチメディアボックスの台数は、ご使用になるコンピュータのUSBポート数に依存します。マルチメディアボックス3台をコンピュータに接続する例を以下に記載します。

■マルチメディアボックス3台の接続例



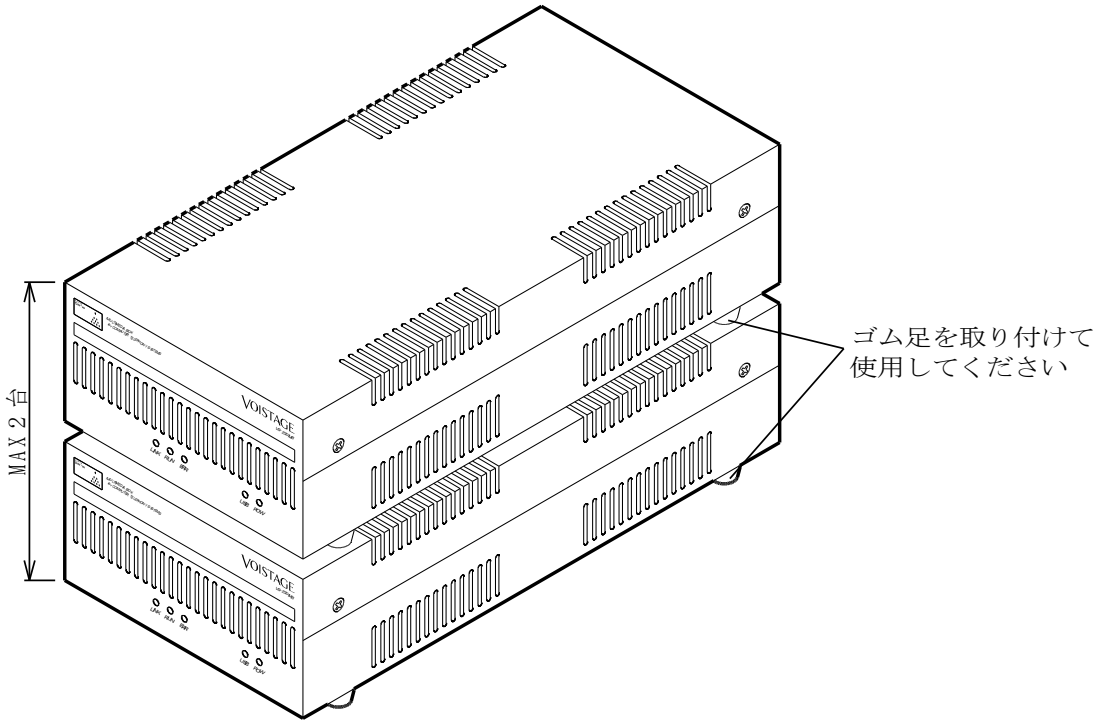
■ID スイッチについて

1 台のコンピュータに複数台のマルチメディアボックス（VS-2301MB）を接続する場合は、ソフトウェアが区別して認識するため、それぞれのマルチメディアボックスに識別番号（ID）を ID スイッチで設定する必要があります。

「1.5.6 筐体後面」の表（3.ID 設定スイッチ）に従って ID1、ID2、ID3 の順に重複しないように設定してください。

2.2.3 複数台積載する場合の注意

複数台のマルチメディアボックス(VS-2301MB)を以下のようにして積み重ねて使用することができます。積み重ねられるマルチメディアボックスは 2 台までです。



注意

◆各マルチメディアボックスにはゴム足を取り付けて使用してください。すべって崩れる危険があります。また、通気孔がふさがって故障の原因にもなります。

◆3 台以上積み重ねて使用しないでください。

◆平らで安定した場所に置いてください。落ちた場合、けがの原因となります。

3. ソフトウェアのインストール

本製品を使用するためには接続先のコンピュータにドライバ及び基本ソフトウェアをインストールする必要があります。セットアップを行う前に、以下のセットアップ手順をよく読んで正しくご使用ください。

①コンピュータと本機器を接続
②本機器の電源 ON
③コンピュータ起動
④基本ソフトウェア CD をコンピュータの CD ドライブに挿入
⑤本機器が自動認識され、「新しいハードウェアの検出」ウィザード画面が現れますが、ウィザードをキャンセルして終了します。
⑥基本ソフトウェアのインストール

4. こんなときは？

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

電源が入らない

原因 **電源ケーブルが AC100V に接続されていない。**

⇒ 電源ケーブルの接続を確認してください。

基本ソフトウェアがインストールできない

原因 **コンピュータの OS が推奨されたバージョン以降の Windows でない。**

⇒ 「1.4　推奨動作環境」で示されたOSがインストールされたコンピュータを使用してください。

原因 **本製品がコンピュータで認識されていない。**

⇒ USB ケーブルが本製品に正しく接続されているかを確認してください。

コンピュータでマルチメディアボックスが認識できない

原因 **USB ケーブルが接続されていない。**

⇒ USB ケーブルの接続を確認してください。また本製品に添付の USB ケーブルを使用しているかを確認してください。

原因 **USB1.1 で接続している。**

⇒ USB2.0 に対応したコンピュータをご使用ください。また本製品に添付の USB ケーブルを使用しているかを確認してください。

原因 **マルチメディアボックスの電源が切れている。**

⇒ マルチメディアボックスの電源を ON にして、コンピュータで認識するか確認してください。

USB 状態 LED が 3 回点滅にならない

原因 **USB ケーブルが接続されていない。**

⇒ USB ケーブルの接続を確認してください。また本製品に添付の USB ケーブルを使用しているかを確認してください。

原因 **コンピュータの電源が切れている。**

⇒ コンピュータの電源を入れてください。

原因 **USB2.0 の規格でない。**

⇒ コンピュータ側の USB コネクタが USB2.0 対応であるか確認してください。

原因 **ファームウェアが起動していない。**

⇒ マルチメディアボックスの電源を一度切り、再度電源を入れてください。

4. こんなときは？

回線接続しても回線リンク LED が点灯しない

原因 基本ソフトウェアが適切に動作していない。

⇒ 基本ソフトウェアの設定を確認してください。

異常表示 LED が点灯または点滅している

原因 本製品がコンピュータと接続されていない。

⇒ USB ケーブルの接続を確認してください。

原因 コンピュータに基本ソフトウェアがインストールされていない。

⇒ 再度インストールを行って動作を確認してください。

原因 FAX モデム異常が発生している。

⇒ マルチメディアボックスの電源を一度切り、再度電源を入れてください。

運転 LED が点滅しない

原因 基本ソフトウェアが起動していない。

⇒ 基本ソフトウェアを起動させて確認してください。

5. 仕様一覧

5.1 機能仕様

機能		仕様
局線インタフェース	適用回線	INS ネット 1500×1
	フレーミング	ESF
	通信モード	B チャネル回線交換
	コネクタ	RJ45（RJ48C）
音声機能	送信	−8dBm（max）
	受信範囲	−4～−40dBm
	周波数特性	300Hz～3400Hz±3dB
	方式	PCM8、16、μ −lawPCM
	データレート	PCM8:64kbps、PCM16:128kbps、μ −law:64kbps
	音声入力レベル	推奨レベル−15dBm ゲイン調整可能
	音声出力レベル	推奨レベル−15dBm ゲイン調整可能
	ダイヤルパルス認識	回線接続後の DP−10/DP−20/DTMF を自動判別し認識
トーン検知	DTMF	16 桁 0～9、*、#、ABCD 標準 ミニマムポーズ 30ms
	検知範囲	−4～−36dBm
	S/N 比	10dB(最小振幅トーン)
単一周波数	検出	FAX 信号の CNG、CED を検出可能
	検出レベル	−4～−36dBm
	送出	400Hz～2100Hz までの 17 種類で送出可能
	送出レベル	−8dBm（max）
FAX 機能	通信方式	調歩同期通信方式
	適応規格	ITU−T 勧告：T.4、T.6、T.30 V.17、V.29、V.27ter、V.21、V.34 準拠
	受信レベル	−3～−43dBm
	通信速度	33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/ 14400/12000/9600/7200/4800/2400bps 自動フォールバック可能
	接続相手	SuperG3 規格または G3 規格対応ファクシミリ機
	画像サイズ	A4、B4、A3
	圧縮方式	MH、MR、MMR、JBIG
	ECM 機能	サポート
	走査線密度	ノーマル ： 200×100dpi ファイン ： 200×200dpi スーパーファイン： 200×400dpi

5. 仕様一覧

機能		仕様
寸法・重量	外形寸法 H×W×L(mm)	68(ゴム足含まず)×135×275.7(突起部含む)mm
	重量(Kg)	1.6Kg
接続	ホストインタフェース	USB2.0　シリーズ B コネクタ×1　HI-SPEED
	最大接続可能台数	3 台/コンピュータ
状態表示 LED	回線状態	回線リンク LED(緑)×1 個
		運転 LED(緑)×1 個
		異常表示 LED(赤)×1 個
	USB 状態	USB 状態 LED(緑)×　1 個
	電源状態	電源 LED(緑)×　1 個
電源条件	動作電源	AC100V±10%　50/60Hz
	電源ケーブル長	1500mm(±50mm)
	電源プラグ形状	2P
	消費電力	21W
動作環境	動作時	温度 +5～+40℃　湿度 10～85%(結露なし)
	非動作時	温度 −10～+60℃　湿度 10～85%(結露なし)
JATE 認証番号		C09-0310001
RoHS 適合状況		適合済み

6. 保証規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、本規定に基づき無償修理をいたします。販売店にお申し出の上、保証書をご提示ください。
   なお、修理の内容によっては、修理にかえ、本製品の全部または一部を同等品と交換させていただくことがあります。この場合、お送りいただいた機器等はお返しいたしませんのでご了承ください。
2. 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
   (1) 保証書のご提示がない場合
   (2) 保証書にお引渡し年月日、お客様名及び販売店の記入がない場合、又は字句を書き換えられた場合
   (3) ケーブル等の消耗品の交換である場合
   (4) 使用上の誤り、又は不当な修理や改造等による故障及び破損である場合
   (5) 接続時の不備に起因する故障、または接続している他機器に起因する故障
   (6) 取付け場所の移動、落下又は衝撃による故障及び破損である場合
   (7) 火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変など外部に原因がある故障及び破損である場合
   (8) その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合
3. 本製品使用又は故障等で使用できなかったことにより発生した損害(データの消失等)については、弊社は一切の責任を負いかねます。
4. 本規定の適用範囲は、本製品のハードウェア部分に限るものとします。
   基本ソフトウェアにつきましては、基本ソフトウェア使用許諾契約が適用されます。
   なお、本製品の取り外し、再取付け等に伴い、ソフトウェアの再セットアップや設定変更が発生したとしても、弊社は一切対応できませんのでご了承ください。
5. 本保証は、日本国内においてのみ有効です。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従いまして、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、おわかりにならない場合は、お買上げの販売店等にお問合せください。
保証書の再発行はいたしませんので、大切に保存してください。
修理に伴う製品の送料は、お客様においてご負担願います。

5年間保証について (まずはユーザー登録をお済ませください。)

本製品には 1 年間の保証期間が付帯しますが、その間に VOISTAGE ホームページ内 https://www.voistage.com/ures5 からユーザー登録をしていただくと、無償にて保証期間を 5 年間に延長させていただきます。ユーザー登録がない場合は、保証期間が 1 年間となりますのでご注意ください。

保証書

持込修理

品名	VOISTAGE マルチメディアボックス	型番	VS-2301MB
シリアル番号			
お客様名		様	
ご住所	〒		
電話番号	ー ー		
E-mail	@		
保証期間	1年間(お買い上げの日から)		
販売店			
お買い上げ日	年 月 日		

VOISTAGE

VS-2301MB

マルチメディアボックス
取扱説明書　第 2 版
平成 24 年 4 月

・VOISTAGEはNTTデータ先端技術株式会社の登録商標です。
・その他、記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
・本説明書の内容は予告なく変更することがあります。
・本製品に関するお問い合わせは、E－Mailでお願いします。

E-Mail：info@voistage.com

NTT DATA NTTデータ 先端技術株式会社

〒104-0052 東京都中央区月島 1-15-7 パシフィックマークス月島
URL http://www.voistage.com
E-Mail info@voistage.com